



市民と歩む会

柏野 大介 議員



恵庭市観光振興計画について

問 第2期恵庭市観光振興計画では、目指す効果として「恵庭市の認知度の向上」「交流人口の拡大」「経済波及効果の拡大(観光消費額の向上)」を掲げています。的確な実態把握をした上で、進捗管理を進めていくべきだと思います。観光入込客数、観光消費額等について伺います。

答 観光入込客数は、コロナ禍においても減少せず推移し、令和4年度は「ガーデンフェスタ北海道2022」の開催効果等により、過去最高の約201万人となっております。

観光消費額の推移については、令和2年度に観光消費額約58億円と算出し、当該計画期間終了の令和7年度に向け、次年度より算定作業を進めて参りたいと考えています。

問 観光振興計画では、基本方針として「市民が主体となった観交まちづくり」を掲げています。民泊による滞在型観光の推進は、こうした方向性とも合致するものだと思いますが、民泊の推進に向けた取組について伺います。

答 北海道知事への届け出、宿泊者に対する騒音防止の説明や近隣住民からの苦情への対応により、事業が円滑に進められていると認識しています。現在、市内には4件の事業者が営業しており、今後、滞在型観光を推進する上で、どのような関わりが必要か、実態把握も含め調査研究が必要と考えています。



ラルマナイの滝

問 経済建設常任委員会で示された「盤尻地区観光まちづくり事業化構想(案)」では、滞留性や周遊性の拡大が示されているものの、「地域経済効果」への波及が抽象的で不明確です。現時点で想定している投資額と経済効果、収支の見通し等について伺います。

答 基本構想に基づき具体化への検討段階であり、現時点で示すことはできませんが、できる限り民間を活用することを中心とし、組み立てて参りたいと考えています。

◆その他の質問項目
ごみ料金の改定について、障がい者虐待の防止について



市民と歩む会

新岡 知恵 議員



ファミリーサポート事業の見直しについて

問 地域の力を活用した子育て支援において、本事業は重要な役割を果たしています。事業を持続可能なものとし、多様なニーズに対応するためには、低所得やひとり親に対する利用料金の減免など、柔軟な制度の見直しが必要だと考えます。本事業の課題について伺います。

答 子育てを援助する協力会員の人数を増やしていくことが課題であると認識しております。

問 恵庭市では、利用料金について減免制度がありません。近隣4市では、利用者への経済的支援を実施しています。障がい児がいる世帯も含めて、利用料金について支援の必要があるのではないのでしょうか。

答 令和5年に運営委託した以前から、現在の料金体系で実施しています。この間、子育て世代のニーズの多様化や社会情勢が変化しています。一方では、利用負担のあり方についての検証も必要だと考えています。



ファミリーサポートセンター事業利用の様子

問 ニーズが多様化していく一方で、公的資源には制限がある状況の中、ファミサポが担う共助の役割は大きいと思います。今後の制度見直しに期待したいと思います。

答 地域の方々で子育て支援をするという取組は重要なことだと考えています。事業を検討するには、地域資源の現状把握や、提供体制の確保も必要です。本市の実情に合わせたサービスのあり方について、調査研究していきたく考えています。

◆その他の質問項目
公共施設におけるゼロカーボンへの取組、外国人にとってやさしい行政サービス、給付金支給に関する支援



民主・春風の会

澁谷敏明

議員



「ワーケーション」や「サテライトオフィス」の推進について

問 余暇を楽しみながら働く「ワーケーション」や本社から離れた場所で勤務する「サテライトオフィス」の現状と課題を伺います。

答 ワーケーションは、関係人口の創出や移住定住の促進、市内の企業進出等による地域経済活性化を目的に、本年6月に「恵庭市ワーケーション基本方針」を策定し、市内事業者との意見交換、プラン案の作成に取組んでおり、本年6月に花の拠点「はなふる」で、1社を受入れました。

サテライトオフィスでは、誘致に向けた施策検討のため、「サテライトオフィス立地動向調査」を実施し、本市に興味を示した企業18社に働きかけましたが、その後の社会情勢の変化等を理由とし、いずれも市外への設置には至らなかったところです。

問 ワーケーションの推進への課題と今後の解消手法について伺います。

答 新年度、はなふる内のWiFi整備、魅力あるプラン作成、首都圏等企业への訪問セールスの実施を考えて

おり、市内に拠点があり、市外に本社等がある企業の職員研修の誘致等にも取り組んで参りたいと考えています。



ワーケーションイメージ写真

問 現在、千歳市において、ラピダス(株)が次世代半導体工場の建設を進めています。工場用地以外のオフィスのニーズもあると考えますが、所見を伺います。

答 現在、新たな工業団地の整備検討に資する情報の収集や分析のため、企業立地動向調査を実施しています。工場及び事業所に関わるニーズも併せて聞いており、オフィスのニーズも把握して参りたいと考えています。

◆その他の質問項目

・定年延長と職員の働き方について、本市のキャッシュレス収納について、ゼロカーボンシティの実現に向けて



翡翠会

宮

利徳

議員



市民プールの在り方について

問 市民プールにおける課題と今後の対応を伺います。

答 本市においては、計画的に補修等を実施し、施設の維持に努めていますが、本年度の開設備準備の際に、島松水泳プールにおいて緊急に修繕を要することが判明し、応急処置を施し今シーズンを終える等、いずれの施設も老朽化が進んでいることが課題となっております。

今後の対応としては、全体的なプールの修繕計画等について、早急な見直し検討を行う必要があると考えています。

問 島松水泳プールの老朽化というところがありますが、具体的にどのような状況であったのか伺います。

答 特に上屋鉄骨部分において、さびの腐食による劣化が進んでおり、また、給水管の漏水が発生していたため、いずれも修繕を行わなければプールの開設ができない状況であったことから、応急処置を施した上で今シーズンのプール開設に、間に合わせたところ

です。



島松水泳プール

問 市民プールの在り方については、今後もプール5校でいくのか、そうじゃないのか。直すにしても、どのように直して行くのかを含め、早急に方向性を決める必要があると思います。所見を伺います。

答 島松水泳プールを初め、全体的な市民プールの修繕計画を含め、市民プール全体の今後の在り方について早急な検討が必要と考えています。

今後は、恵庭市スポーツまちづくり審議会の意見も伺いながら、速やかに検討を進めて参りたい。

◆その他の質問項目

・緊急現場におけるDXの推進について



翡翠会 吉永孝之 議員



自主防災組織の活動について

問 本市では、町内会、自治会等を単位として自主防災組織を設置し、災害発生時に備えています。各小中学校の避難所運営と、町内会等を単位とした自主防災組織について伺います。

答 災害発生時の避難所開設や運営等で自主防災組織が円滑に対応できるように、引き続き地域版避難所運営マニュアルの作成を進めるとともに、避難所運営訓練を実施するなど、地域防災力向上に向け地域と連携しながら取り組んで参ります。

問 学校避難所の防災備品について、保有する物品、特に資機材が避難所の規模に対し、資機材の性能が十分なのか確認されるのかどうか伺います。

答 自主防災組織が必要としている性能を有しているかについては、把握をしております。防災備品も含め、自主防災組織と学校が一層連携していただけるよう、引き続き支援して参ります。

問 自主防災組織の活動に対する助成金制度を設け、各町内会に1回限りという制限があると伺っています。

二つ目の倉庫や備品が買えないといったこともあります。防災倉庫は、公園内に設置して緊急時に速やかに使える様にといい要望も寄せられています。こういった地域のニーズがありますが所見を伺います。



和光町内会自主防災組織の防災訓練の様子

答 自主防災組織の活動状況の実態を把握するため、令和4年度にアンケート調査を実施しました。

現行の助成制度を見直し、これまで以上に地域ニーズに合った支援を行うて参りたいと考えています。

◆その他の質問項目

・有害鳥獣対策について



翡翠会 石井美季 議員



様々な特性がある子どもたちへの支援について

問 「医療的ケア児支援法」が施行されました。これまでと施行後の取組について伺います。

答 平成24年度より、看護師が教育施設等を巡回し医療的ケアを行う「恵庭市教育施設等巡回看護師配置事業」を開始し、平成27年度からは、重度心身障がい児・者の地域生活支援として一時預かり及び入浴ケア事業を開始しています。

また、平成30年度には、医療的ケア児と家族が安心して地域で生活できるように、医療、保健、福祉、保育、教育、当事者団体等の関係機関の連携と支援体制の整備を図ることを目的に「恵庭市医療的ケア児支援協議会」を設置し、毎年2回の会議を開催し、医療的ケア児の現状や課題の把握、各機関での相談・支援内容、情報の共有等を行っています。

法施行以降については、事業の継続と、第2期恵庭市障がい児福祉計画に基づき、本年度は、医療的ケア児の支援や相談に対応し、関係機関との連携や調整を担う「医療的ケア児等コーディネーター」を子ども未来部に配置

予定となっています。



えにわっこ応援センター窓口での相談風景

問 恵庭市教育施設等巡回看護師配置事業の小学校での校外学習等への看護師派遣について課題があると聞いていますが、協議等は進んでいるのか伺います。

答 現在、事業の委託契約をしている事業所と宿泊や宿泊を伴わない校外学習についての看護師派遣について、派遣場所や支援時間、経費等に関し協議を進めています。今後は、子ども未来部と連携し、必要な規則の改正等を行い、次年度にむけて制度を整えて参りたいと考えています。

◆その他の質問項目

・市立図書館の大規模改修にむけて



翡翠会 小橋 薫 議員



市営住宅柏陽・恵央団地建替基本計画（令和4年8月改訂）について

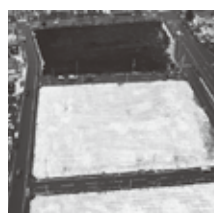
問 改訂した新設借上型市営住宅の工事スケジュールが、来年2月の提案に遅れた要因を伺います。

答 計画策定後に行ったハンズオン支援業務事業者より、市が想定した募集要項の公表から事業者提案までの期間、提案審査の期間、基本協定から本契約までの期間が短いと助言があり、見直したものです。

問 基本計画でのスケジュールでは、地域コミュニティゾーンは、令和5年12月に基本構想を策定し、その後公募等要求水準書及び開示図書の作成、協議決定とあります。基本構想策定後に、複合施設整備計画基本計画を策定する必要性を伺います。

答 基本計画策定時には、複合施設の整備手法、スケジュールなどは既存の複合施設にあす等と同様に設定しましたが、地域コミュニティゾーンは、敷地規模が約3倍広く、街区公園であるかしわぎ公園の移設や、保育園、柏陽会館、柏陽憩の家機能など、えにあすにはない公共機能の複合化が必要で

あること、また、えにあすは補助金の対象外でしたが、街区公園や保育園等の複合施設の一部に補助金適用の可能性があり、施設の位置や規模、内容等に詳細計画が必要となります。



解体を終えた
柏陽団地の一部跡地

問 この事業はこれからのまちのあり方のモデル地区として議論してきました。スピード感を持った事業推進に対する、今後の進め方を伺います。

答 子ども達からの提言を基に、複合施設の構想をつくりましたが、時間も経過し建設にあたり改めて地域や周辺の学校等に伺いながら、適切な施設にしたいと考えており、急がなければならぬことは十分認識しています。どのように作業を縮めるかを最大限考えながら、早く着手できるように考えて参りたいと思っています。

◆その他の質問項目

・恵庭市公共施設等総合管理計画について、恵庭市人材確保計画について、恵庭市パークPFI事業について



翡翠会 矢野浩章 議員



施設の管理補修とバリアフリー化について

問 北栄会館はスロープが設置されていませんが、理由を伺います。

答 現在まで、大きな改修工事も行われておらず、建設時水害対策で基礎の高さを1.5m程度としており、スロープを設置した場合、基準として傾斜部分で24m程が必要となり、設置が難しかったものと考えられます。

問 北栄会館は、選挙時の投票所や避難場所にも指定されています。利用者が少ない施設は他の施設と違い重要ではないとの考えなのか、所見を伺います。

答 地域にとって重要な施設であり、バリアフリー化も必要なことは認識しています。

今後、区域的な施設の在り方の検討や外構を考慮し、スロープを短縮する方法、仮設での設置ができないかなど、昇降機の最新の情報も含め検討し参りたいと考えています。

問 北栄会館は、周辺住民にとってなくてはならない施設だと思います。本市の施設は老朽化の先に統廃合などで廃止、撤去になってしまいうことが少なからずあると思います。廃止となってしまうと代替施設が何キ口も離れた施設となり、統合の対象となるため、区域的な施設の在り方とは何を含むのか、伺います。



正面から見た北栄会館

答 施設の機能は今後も変わらずに維持していく方針となっており、建物本体の方向性については、地域の意見も聞きながら、今後の施設の在り方について検討を行い、必要な施設の改修やバリアフリー化も検討していきたいと考えています。

◆その他の質問項目

・国民健康保険の特定健診について



翡翠会 三上まどか 議員



小規模事業者の経営支援について

問 現在の小規模事業者支援の取組について伺います。

答 令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「第2期恵庭市中小企業振興基本計画」に基づき、様々な取組を進めているところであり、今後についても、豊かで住みよいまちをつくるため、本計画に基づく施策を展開して参りたいと考えています。また、コロナ対策や物価高騰対策として、これまで12次にわたり経済対策を実施し、地域経済を支えており、今後も地域の状況等の把握に努めながら金融対策等必要に応じて検討して参ります。

問 ただ今、市内各地においても、飲食店の空き店舗が増え続けており、閉店のままとなっています。
答 企業支援の拡充も必要だと思いますし、もう一方では、中小企業までを対象とする市独自の経営持続化補助金の創設を考えますが、所見を伺います。

答 コロナ禍を踏まえ、多くの事業者が様々な取組等を考えていることは、

認識しています。

国の制度として、小規模事業者の持続化補助金があります。札幌連携中枢都市圏でも、新製品や新技術の開発のための支援、また販路拡大に向けた支援や人材不足に向けた支援が行われています。また、道央産業振興財団でも、製品開発支援事業が実施をされています。更には、恵庭市農商工等連携推進ネットワークによる商品開発に関する様々な支援制度についても情報提供や事業者紹介等を行っており、商品開発の支援、セミナー勉強会等を開催しています。

以上の理由から、市独自の補助制度は、現段階で直ちには創設することは、難しいと考えています。

今後、これらの取組の周知等を行うとともに、地元企業の支援を継続して参りたいと考えています。



中小企業で働く人達のイメージイラスト

◆その他の質問項目
国際理解教育について



翡翠会 川原光男 議員



恵庭駅周辺活性化事業の成果と今後の方向性について

問 恵庭駅西口駅前通のにぎわいによる活性化の動きの芽が萌えている状況です。この地域でのにぎわい創出の起爆剤となる、最後の場所はまなび館だと思っております。

地域のGDPを向上させ、消費に繋げ市外からの来客を外貨を稼ぐ、冬にはダルマストープで人を集めてコミュニティ空間を創造し、にぎわいの中核としたい、そんな思いを試行したいと聞いています。所見を伺います。

答 恵庭駅通商店街振興組合からの報告では、旧まなび館を活用した事業に複数のアイデアがあるものの、周辺での試行事業実施に留まっており、建物そのものを用いたにぎわい創出の試行は十分にできてはいないと伺っております。新築から約33年が経過をし、老朽化が進み、また、バリアフリー構造ではないことから、公共施設として市民の利用に適さない施設であるため、コミュニティ施設としての利用は大変困難と考えており、現状有姿でかつ一時利用する場合に限り利用を認めています。



旧まなび館

問 チャレンジの計画をすぐに提出と言われても、市民ボランティアが実施しており、計画を煮詰め精査も必要で、時間的にも大変無理で試行も考慮に入れないでしょうか。こういうボトムアップ的なことはやってみたいとは思いますが、市民の活動のモチベーションを上げてやっていただきたいと思えます。

答 しっかりとした事業計画を作り上げ、近隣にも理解いただきながら「やっていこう」ということになれば、あの場所には色々な制限がありますので、そういったことを、クリアしながら、組合の考えも活かすようなことを考えていきたいと思えますし、試行期間の延長など要望がある場合には改めて協議し対応して参りたいと思えます。

◆その他の質問項目
夢と健康を育むまちについて



公明党 生本富士代 議員



避難行動要支援者制度の現状と今後の取組について

問 災害時の高齢者や障がいのある方が、安心して避難できる体制「避難行動要支援者制度」の現状と今後の取組について伺います。

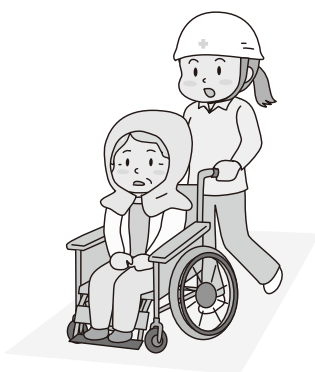
答 「避難行動要支援者名簿」を作成するとともに、避難行動要支援者一人ひとりの状況に応じた必要な支援等を記載する「個別避難計画」の作成に取り組んでおり、災害時における適切な避難支援を行うための体制づくりを進めています。

今後については、避難行動要支援者の関係団体の会議等で、制度の説明や意見交換を行い、具体的な協議を進めて参ります。

問 個別避難計画作成が市町村の努力義務となりましたが、本市は未作成です。個別避難計画書というのはどういった内容なのか伺います。

答 避難行動要支援者本人の氏名、住所、生年月日、性別、連絡先、それに加えて避難支援等を必要とする事由とあったことを記載するほか、同意が得られた避難支援者の氏名または名称、

住所連絡先などを記載し、更には避難先の情報、避難経路等を記載することとされています。



要支援者のイメージイラスト

問 個別避難計画の作成について、今後のスケジュールを伺います。

答 今年度は、優先度の高い方についてモデル的に計画を作成し、今後は対象者全員の計画作成に向けた事務手続きや、計画作成方法の方策を今年度中に固め、令和6年度から順次計画を作成して参らうと考えています。

◆**その他の質問項目**
・食品ロス削減の取組について、都市計画マスタープランについて



公明党 松島 緑 議員



恵庭市デジタル化推進計画について

問 LINEを活用した市民サービス導入について伺います。

答 令和5年9月にプロポーザル方式により委託業者を決定し、現在、実装する機能や基本設計等を行っております。予約機能、ごみ処理に関連する機能、子育てに関連する機能、各種アンケート機能、通報機能等を、令和6年2月を目途に運用開始予定としています。運用開始後も先進事例を参考に、市民ニーズに応える機能を随時追加し、利便性の向上に努めて参ります。

問 窓口支援システム(書かない窓口)の導入について伺います。

答 デジタル庁が派遣する外部アドバイザーの支援を得て、窓口担当課を中心にシステム導入に向けた検討会を実施し、9月にはプロポーザル方式により委託業者を決定、現在はシステム導入に向けた機器の設置や要件定義等を行い、市民課で発行する各種証明書の交付申請時の「書かない窓口」の導入を令和6年2月を目途に進めています。次年度以降、引越しや戸籍の届出等

にも拡大することを目指し関連する窓口を回ることを減らす「ワンストップサービス」の実施に向けた取組を推進して参ります。



混雑する市民課窓口

問 女性デジタル人材の育成について伺います。

答 国の「女性デジタル人材育成プラン」では、「デジタルスキル習得支援」・「デジタル分野への就労支援」の両面から、国、自治体、企業等が連携して取組を進めていくとされ、「恵庭市デジタル化推進計画」の実施計画では、本年度女性デジタル人材の育成を推進するために対象事業の検討を行うこととしており、現在、他の自治体の取扱事例の情報収集などを行っております。

今後、本市での事業実施に向けた検討を進めて参りたいと考えています。

◆**その他の質問項目**
・終活支援について、地域公共交通について



公明党 野沢宏紀 議員



高齢者等除雪サービス事業について

問 現状と課題、今後の取組について伺います。

答 社会福祉協議会で、令和5年9月1日から現在までに新規51世帯を含む435世帯の申込みをいただいています。担い手の高齢化や人材不足を課題として捉えており、新たな担い手確保の取組として、本年度から、これまでの町内会や事業所に加え、個人の協力を募集し5名が登録されたところであります。今後も社会福祉協議会と連携し事業を円滑に進めて参ります。

問 今回、個人登録を進めているというのですが、いつからどのような経過で行うようになったのか伺います。

答 今年度、社会福祉協議会の除雪担当職員が直接地域等に出向き、参加案内を促す取組を始めたところですが、こうした取組を更に幅広く継続して行つて参りたいと考えています。

問 個人だけではなく、数人の仲間登録できる事も考えるべきだと思えます。平日はできないけれども、土日は

ら対応できるという方も居られるかも知れません。その様な方々にも、対応できる様な事も必要だと思えますが、所見を伺います。



高齢者等除雪サービス事業のチラシ等

答 いかにも新しい担い手を確保し、安定的に事業を進めていくかが、重要な課題だと認識しています。個人だけではなく複数人でのチームも取り入れることは、これまでワンシーズンを1人で1件を受け持つとしておりますが、いつ降るか分からない雪への対応として、例えばシフト制等により拘束時間が軽減される、または降雪量によっては、複数人で除雪を行うことも考えられ、有効な方策ではないかと思えます。

◆**その他の質問項目**
・子育て応援事業について、「なんもだよ」(有償サービス)について



諸派 小林卓矢 議員



今冬の除雪について

問 一昨年の大雪では、市内交通機能が麻痺し、市民生活にも大きな影響を与え、排雪作業に必要なダンプロック、交通誘導員の確保が課題でした。除雪対策について伺います。

答 一昨年の大雪の教訓を踏まえ、大雪に備えた除排雪体制を確保できるよう、通学路やバス路線を優先とした路線排雪、交差点の排雪や拡幅の積み上げ除雪、幹線道路における3車線レーンの除排雪経費のほか、排雪日数や降雪量の増加に伴う資機材等を含めて予算を確保しました。

問 市民への情報発信や周知について伺います。

答 除雪車にGPSを搭載し、パソコンやスマートフォン等から、作業状況や位置がわかる「除雪作業車両追跡マップ」を、市のHPのトップ画面に掲載し、確認しやすくするとともに、非常時には、除排雪等の状況がわかるメッセージも配信しています。

市民への周知では、広報誌と併せて配布している除雪に関するパンフレットやFMラジオ、かき分け除雪や除雪マナー

啓発用のチラシを生活情報紙に折り込んで配布するなど、理解や協力をいただけるよう努めているところです。



除雪トラックによる除雪作業のイメージ

問 令和2年度と令和4年度の降雪量がどれくらいだったのか、また増えた苦情の内容について伺います。

答 令和2年度は累積の降雪量が368cm、令和4年度は409cmとなっております。苦情内容は、ザクザク路面などの路面状態によるものが一番多く、次に、作業後の雪の片寄せや未除雪に関するものが増えています。

◆**その他の質問項目**
・駒場町の旧青少年研修センター跡地に建設予定の福祉施設及び避難所について